

バロー文化ホールモーニングサロン 第3回

ベートーヴェンとピアノ

ピアノソナタを聴きながら

ナビゲーター 堀江博行

プロフィール

1949年6月16日生まれ。国立音楽大学別科調律卒。ピアノメーカー勤務
1980年4月ホリエピアノ研究所（多治見市前畑町2-46）設立
1992年陶都楽友協会代表発起人（音楽家及び指導者等による任意団体）
1994年ホリエ音楽アカデミー開設
1998年アートスペース・ホリエ開設
2023年一般社団法人たじみ音楽でまちづくり市民協議会・代表理事

「音楽の革命児」ベートーヴェン（1770-1827）は、22歳でウィーンに渡り、1795年から約25年間にわたり32曲のピアノソナタを作曲しました。古典派からロマン派へと音楽を進化させた彼の背景には、ピアノの技術革新がありました。

1709年に発明されたピアノは、ベートーヴェンの時代に5オクターブ半から6オクターブへと拡張され、より多彩な表現が可能になりました。代表作の「ワルトシュタイン・ソナタ」や「熱情ソナタ」は、こうしたピアノの進化とともに生まれたのです。ベートーヴェンとピアノの共鳴は、音楽史に革新の足跡を残しました。

モーニングサロン第3回は、ベートーヴェンの各ピアノソナタとピアノ発展の歴史的関連について、ピアノソナタのレコード鑑賞を交えながらお話しします。



2025


1.22 (水) 10:30 - 11:30

申込不要・参加費無料

会場 バロー文化ホール 大会議室

お問い合わせ

バロー文化ホール (多治見市文化会館)

 **0572-23-2600**

主催 (一社) たじみ音楽でまちづくり市民協議会 多治見市文化会館